



報道関係各位

三浦半島エリアの観光活性化に向けた産学金連携プロジェクトを開始！
 ～学生たちが(株)四季の自然舎、京浜急行電鉄(株)および(株)横浜銀行と
 コンセプトルームを企画します～

関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：小山厳也）と京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区 取締役社長：川俣 幸宏 以下 京急電鉄）は、株式会社横浜銀行（本社：横浜市西区 代表取締役頭取：片岡 達也 以下 横浜銀行）と連携し、株式会社四季の自然舎が運営するホテル「マホロバ・マインズ三浦」に新たなコンセプトルーム「京急電鉄トレインルーム」を創出する共同プロジェクト（以下「本プロジェクト」）を開始しましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、四季の自然舎より新たなコンセプトルームについて相談を受けた横浜銀行が、地域企業や教育機関とのネットワークを活用してプロジェクト全体のコーディネートをおこない、京急電鉄および関東学院大学が参画することとなり始動。人と地域をつなぐデザインを学ぶ同大学人間共生学部 神野ゼミナールの学生たちが、新しい宿泊体験を生み出すコンセプトルームを考案しました。新設する「京急電鉄トレインルーム」は、京急電鉄より引退車両の部品提供を受け、京急線が三浦半島を縦断して海へ向かうイメージと、ホテル「マホロバ・マインズ三浦」からの雄大な海の景色といった地域の魅力とを融合させた、体験型のコンセプトルームとなる予定です。この部屋を通じて、ファミリー層や鉄道ファンはもちろん、自然やリゾートを楽しみたいという幅広い方々に、特別な宿泊体験を提供し、地域の新たな来訪者層の獲得や観光産業のさらなる活性化をめざします。

これまでの活動で、学生自ら「マホロバ・マインズ三浦」を訪ねて現場の視察や鉄道について研究される専門家へのヒアリングを実施し、多様な顧客層が楽しめるコンセプトルームを検討してきました。12月18日には学生たちの企画を、連携する企業へ向けて最終報告します。

【本プロジェクトの概要】

テーマ	「マホロバ・マインズ三浦」の新コンセプトルーム「京急電鉄トレインルーム」の企画
目的	コンセプトルームの新設を通じた、地域経済および観光産業の活性化
プロジェクト内容	関東学院大学人間共生学部共生デザイン学科 神野由紀教授のゼミナールの学生による、京急電鉄の引退車両部品を活用した新たなコンセプトルームの提案
今後のスケジュール	12月18日 12:05～12:45：学生によるコンセプトルームの最終提案報告会 場所：関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス（東）E4号館2階202教室 2026年夏頃：「マホロバ・マインズ三浦」の新コンセプトルーム完成予定



2025 年 10 月 2 日の初回講義の様子



2025 年 10 月 5 日「マホロバ・マインズ三浦」視察の様子